

第2回 下伊那採択地区協議会会議録

日 時：令和2年7月7日 13時40分～

出席者：下伊那採択地区協議会委員20名（以下「委員」）

欠席者：なし

事務局：飯田市教育委員会学校教育課

桑原課長

上沼課長補佐兼学務係長（以下「上沼課長補佐」）

学務係 岡村担当、原担当

（進行：上沼課長補佐）

1. 開会

○上沼課長補佐（協議会の成立確認）

※委員について、発言者の個人名は記載しない。

（進行：代田議長）

2. 協議事項

○代田議長 国語に関して、部会から光村図書が優れていると報告されましたが皆さんより意見をいただきたいと思います。

○委員 私は、光村図書がいいと思います。

まず、小学校から中学校への国語学習のスムーズな接続の部分で申し上げますと、光村図書は、1年生入学当初の国語学習で、小学校から中学校へという単元がきちんと設定されておりまして、野原は歌う、声を届ける、書き留める、言葉を調べる、続けてみようという、そういう一連の学習が、小学校の学習を元に中学へ進んでいくというつながりがある学習になっているというふうに考えております。

また、光村図書は、QRコードがそれぞれの単元についておりまして、詳しく作者の声とか資料がその単元ごとに用意されていて、インターネット上でも学習ができるようになっていることもいいなというふうに思いました。

最後に、他社の教科書に比べまして、光村図書は手になじむしっとりとした手触りの教科書でありまして、子どもたちが使うにはいい教科書ではないかというふうに考えました。

○代田議長 他にいかがでしょうか。

○委員 私も光村図書の教科書がいいのではないかというふうに思います。

特に、導入のところが、その学習活動の基本のようなところを非常に丁寧に位置付けているということ、それから、書くとか表現をするという、正に思考・判断・表現力を培

っていく部分のところの学習の例とか、それから学習過程が非常に丁寧で、子どもたちの立場に沿って教材がおかれているというあたりが、とてもいいところだなというふうに思います。なので、光村図書でというふうに思っています。

○代田議長 他にいかがでしょうか。

○委員 私も光村図書がいいと思います。古典的な文学作品と言うのはそれぞれの教科書にあると思うんですけども、中学生が共感しやすいというような作品が光村図書にはあると思います。例えば、瀬尾まいこさんとか安東みきえさんといった作品について、教科書に掲載されているのは、中学生が共感しやすいのではないかなというふうに私は思います。

○代田議長 他にご意見がありますか。

○（発言者なし）

○代田議長 光村図書の教科書が優れているという話をいただきましたが、光村図書で決定してよろしいでしょうか。

○（全員同意）

○代田議長 それでは国語は光村図書とさせていただきます。

○代田議長 続きまして、書写のほうに移りたいと思います。書写について、同じく光村図書の教科書が優れていると部会から報告がありました。皆様のご意見をよろしくお願いいたします。

○委員 光村図書の書写がいいというふうに思いました。それはまず、教科書のサイズですけども、三省堂、光村図書に比べて、東京書籍、教育出版は一回り大きく、使い勝手が悪いかないという、そういうことがひとつございます。また、お手本の中にあります朱墨とか薄墨とかの色合いが、光村図書の色合いが好きだなんていうのが、私の思いなんです。それからもうひとつ、練習する字の横に、すぐにQRコードがついておって、そのQRコードも非常に多くありまして、それを読み取っていくと、単なる知識理解だけじゃなくて、書き方がビジュアルでウェブ上で見られたり、注意が見られることが光村図書の特長じゃないかなと思ひまして、いいんじゃないかなと思っております。

○代田議長 他にいかがでしょうか。

○委員 今委員が言われたことに尽きるんですけど、更に加えて言えば、光村図書の場合、書写ブックというのがあって、その書写ブックのところ導入をして、どういうところに気をつけて書けばいいかっていったその視点をちゃんと抑えてから練習に入るっていったような工夫がされています。そういう点も学ぶ者の立場からいくと、非常に学びやすい教科書になっているのかなあというふうに思います。

○代田議長 他にいかがでしょうか。

○（発言者なし）

○代田議長 国語の書写について光村図書が最も優れているとお話をいただきましたが、以上

のような理由により光村図書が最も適当であるとしてよろしいでしょうか。

○（全員同意）

○代田議長 それでは、書写は光村図書とさせていただきます。

○代田議長 続いて、社会科の分野に移ります。まずは、地理的分野に関してですが、地理的分野教科書は、部会の報告では東京書籍が最も優れていると報告がありましたけれども、皆さんのご意見をいただければと思います。

○委員 私は東京書籍が良いと考えます。その理由は、世界の姿、日本の姿と冒頭にあるわけですが、比較材料が豊富で見えて非常に参考になる、そういう導入がなされる点です。

それから、東アジアをどう捉えるかという点で、他の教科書は中国や韓国、時には中国があり韓国の記述がない等があるわけですが、アジアニーズということで、韓国、シンガポール、台湾、香港、そうしたものを1つのくくりとして、新しいアジア像を描き出している点で、これからの学びに適しているのではないかと感じます。

○代田議長 他にご意見いかがでしょうか。

○委員 私は東京書籍と考えます。ここに来るまでは、私は帝国書院が自分ではいいと思ってきました。それは、写真資料、読みやすさ、あと統計資料等も含めてそれがいいなというふうに、こう思ってきたわけですが、部会の報告を聞き、委員の方々が分析をしてくれて、その中で、特にこの調査報告書の中の全体の特色のところ、各単元の最後に思考ツールを用いた対話的な活動を設定し、学習内容と関連付けて思考力、判断力、表現を高めながら、探求課題を解決すると。正に新しい学習指導要領の狙いに即しているというふうに、報告を聞いて東京書籍ということで考えました。

○代田議長 他にありますでしょうか。

○委員 ちょっとご意見をいただきたいのですが、歴史的分野、公民的分野、地図が部会の報告がそれぞれ帝国書院であります。地理的分野だけ東京書籍ということで、教科書がこの分野だけ違うってことの違和感なりってものは特に考えなくてもよろしいのでしょうか。

○委員 前回の採択では、下伊那は地理が東京書籍、歴史と公民が帝国書院でした。地図帳が東京書籍ということです。

確かに、やっぱり地理的分野、歴史的分野、公民的分野のその流れの中で、やっぱり事象っていうのは捉えていかなければいけない部分はありますが、教科書が違っても、この部分については、私は学習していく過程で特に問題はないんじゃないかということをお自身自身がやってきて、そういうふうに思います。

○委員 私自身、実は地理的分野、帝国書院の方がいいんじゃないかと思ってきたので、そんなような質問をさせていただきましたが、これで問題は無いということであれば、私は特にこの場で帝国書院を推すものではありません。

○代田議長 他にいかがでしょうか。

○（発言者なし）

○代田議長 それでは地理的分野は東京書籍という判断でよろしいでしょうか。

○（全員同意）

○代田議長 それでは、地理的分野は東京書籍とさせていただきます。

○代田議長 それでは、続いて歴史的分野に移りたいと思います。歴史的分野、最も優れていると報告されたのが帝国書院の教科書であります。これについて皆さんからご意見いただきたいと思います。

○委員 帝国書院がいいと思います。

自分自身で研究したところでは、地理的分野は帝国書院で、歴史的分野は東京書籍というのでどうだろうかと思って来たんですが、部会の報告を聞く中で、特に歴史的分野の中で、帝国書院は学習内容と関連する歴史的な事象を題材にして多面的多角的に考えようというところが設けられておって、ひとつのテーマに関して生徒が自分なりに深められる、表現できるように配慮されていると、こういう研究の結果を報告いただいております。そういうことも含めながら、確かに帝国書院の教科書は、私は見やすいし、読みやすいと思います。帝国書院で良いと思います。

○代田議長 他にいかがでしょうか。

○委員 私も東京書籍と帝国書院どちらも決めがたいというのが事実です。結論は帝国書院でよろしいかと思っています。

やはり、歴史を捉えたり、調べ方などが丁寧に記されている点、それから文化面での捉え方、表現の資料や本文中の分量なども適切である、などから、帝国書院がよろしいかと思っています。

○代田議長 他にいかがでしょうか。

○委員 東京書籍と帝国書院、どちらも私は正直言うと甲乙付けがたいかなと思っています。

東京書籍の関係でございますけれども、SDGs の視点から記述が非常にこう掲載されていまして、これから社会を考えていく段階の、大人になって社会を生き抜くという中で、SDGs の考え方っていうのは非常に重要なことだと思っておりまして、この部分については、私は非常に興味を持った部分であります。

しかし、教科書を単品で見た時に、帝国書院のほうは非常に写真や地図だとか、そういったものがこう鮮明であったり、あるいは非常に歴史に興味を持てるような資料が多く載っているという、ここに興味がない児童生徒についても興味を引き出せるのではないかと、そういう観点から、私は帝国書院を推したいと思います。

○代田議長 他にいかがでしょうか。

○（発言者なし）

○代田議長 帝国書院が最も優れているというご意見をいただきましたが歴史的分野に関して

は帝国書院ということではよろしいでしょうか。

○（全員同意）

○代田議長 それでは歴史的分野は帝国書院とさせていただきます。

○代田議長 続いて、公民的分野に移りたいと思います。公民的分野に関しては、これも帝国書院の教科書が最も優れているという部会からの報告がありました。これについて、皆さんからご意見をいただきたいと思います。

○委員 帝国書院、東京書籍とも、いわゆる環境問題や国際的ないろんな人権の問題だとかを含めて、それぞれ特色ある捉え方もしているし、資料も豊富でどちらも私はいいなというふうに思いました。

発行者によって言い方も違うんですが、特に報告書の2の(2)のところ、アクティブ公民の特設コーナーを各単元に設けて、更に深く追求しようというところが、私も読んでいていいなあというふうに思いました。

あとは非常に読みやすいし、特に中学3年、政治経済と非常に内容が複雑になってくるところで使用していくにはいいのかなということを改めて思いました。

○代田議長 他にいかがでしょうか。

○委員 全体的に見た時に、東京書籍が大変捨てがたいというのが正直な気持ちです。それは、全体的なバランスが良く描かれているという点です。

しかし、部会の説明等も踏まえて、一般化されて分かりやすい仕上がりになっている帝国書院を推したいと思います。

○代田議長 他にいかがでしょうか。

○委員 本当に社会科関係の教科書については、私も東京書籍と、それから帝国書院と非常にどちらも良くできているなと思っております。ただ、歴史でもそうでしたけれども、非常に帝国書院は読みやすい、子どもたちが理解しやすいという観点から、私は帝国書院の教科書を推薦したいと思います。

○代田議長 他にいかがでしょうか。

○（発言者なし）

○代田議長 帝国書院の教科書が優れているというご意見をいただきましたが、最も優れている教科書は帝国書院ということではよろしいでしょうか。

○（全員同意）

○代田議長 それでは公民的分野は帝国書院とさせていただきます。

○代田議長 それでは、社会科最後の地図の分野に移りたいと思います。地図に関しては、帝国書院が最も優れているという部会の報告でしたが、皆さんのご意見をいただきたいと思います。

○委員 データがきっちりと細かく仕上げられていて、正確であるということ、それから地図

全般についても見やすく、非常にオーソドックスで、本当にしっかり使い切れると思いますので、帝国書院がよろしいかと思えます。

○代田議長 他にいかがでしょうか。

○委員 今お話があったように、非常に表現がオーソドックスでありますけれども、資料が非常に細かくなっている点、それから、二次元コードが適材適所に配置されていて、これからICT教育をする中で、更に深く学習ができる配慮がされているんじゃないかというところで、帝国書院の地図をお勧めいたします。

○代田議長 他にいかがでしょうか。

○委員 私は帝国書院がいいと思えます。まず、A4サイズで地図が大きい。非常に見やすいということが、大きな理由であります。

2つ目の理由は、統計資料について、それを掲載する年代の問題があるんですけど、帝国書院のほう新しいかなあというふうに私は見ました。あと、数値も細かいところまで出ているかなあというふうに思います。

それで、この研究調書の総合所見のところ、部会の方々がまとめてこう書いてくれます。「歴史地理などの分野に対応しており、地図帳を使って多様な学習ができるように工夫されている」とありました。これを活かしたいと思えます。

地図帳だから、地理の授業だけかと言うとそうじゃありません。地図帳と言うのは、歴史的分野でも、公民的分野でも必ず使います。ですから、やはり3分野にわたって使える、見やすい。そういうことを考えて、私は帝国書院がいいと思えます。

○代田議長 他にご意見ありますでしょうか。

○（発言者なし）

○代田議長 ただいま帝国書院が最も優れているという意見が出ましたが、帝国書院ということではよろしいでしょうか。

○（全員同意）

○代田議長 それでは地図は帝国書院とさせていただきます。

○代田議長 それでは続きまして、数学の分野に移りたいと思えます。数学に関しては、啓林館の教科書が最も優れているというのが部会の報告でしたが、皆さんからご意見をいただければと思えます。

○委員 私は、啓林館か東京書籍というふうに思っていました。中を見ると、色合いで見やすかったのは東京書籍のほうが見やすい配色だったかなと思えました。

確率のところのコラムのようなどころについて、3年間を見通してみると、あれは実は啓林館になかったんですが、他の分野について、そういうことは載っているというようなお話がありました。

各学年1つの単元をじっくり見させていただいたんですが、その中で、3年の二次方程式のところ、二次方程式の前の単元が平方根と根号というところをやっている、二

次方程式になっても解の求め方のところで、この2つの教科書は、最初に平方根の考えを使った解の求め方をやっていたんです。他の教科書については、そこが平方根の位置が2番目になって、因数分解が先に出てきたりというようなことで、単元の流れから言って、その2つがいいなというふうに思っていました。

ただし東京書籍、こう言うのはちょっと具体的すぎて分からないと思うんですが、二次方程式のところに、面積を使った図解が入っているんですが、これが何回考えても難しい。日を置いてまた考えてみるんですが、分からないんです。数学の先生に聞いても、ちょっと分からないというような部分があったりして、子どもにこれを考えさせるのは難儀ではないかなということ、更に文字と式という1年生のところで、加減乗除のところ、1番ページを割いていたのは啓林館ということで、啓林館がいいかなというふうに思いました。

○代田議長 他の委員の皆さんいかがでしょうか。

○委員 自分も部会の報告どおり啓林館と東京書籍がいいと思ったんですけども、啓林館のほうの問題を解くについて条件を変えたり見方を変えたりする問題が各単元で多く用意されていて、広がりのある問題が多くあるということで、啓林館がいいと思います。

○代田議長 他にいかがでしょうか。

○委員 私も啓林館でいいと思います。

7社の中で、方程式の定義について、東京書籍と啓林館だけ違って、あとの4社は全部同じ言葉を使っているんです。東京書籍と啓林館とも多少違ってはいるんです。1番じっくり来たのが啓林館。非常に分かりやすい表現で啓林館が記述してあったというのが第一の印象です。

それから、啓林館で扱っているものを見ると、非常にこう身近なものを扱っているなあ、子どもにとっても親しみを持てるんじゃないかと。そのようなことを全て含めて考えると啓林館がいいと、そんなふうに思います。

○代田議長 他にいかがでしょうか。

○委員 私も啓林館の教科書が優れていると思います。

1つ、特徴でもあり課題だと思ったのが、後半の部分のひとりで学ぼうという所で、ページを広いほうからめくっていくというスタイルが、子どもたちになじむのかなあという疑念はありましたけれども、部会の説明で大丈夫だろうと。特に授業に使うというよりは、個人学習としての機会と考えれば、むしろ使いやすいというような検討もされているということが分かりましたので、そういった懸念がない上で、後ろから学べる、個人で学べるという教科書はとてもいいなというふうに思いました。

また、QRコードやデジタルの部分に関しても、比較的多く、すぐに見られて、しかもダイレクトで飛ぶという設計に関しては、非常に分かりやすいなと思いました。

ただ、他の会社のほうがより動画や、いわゆる3Dを使ったような凝っている部分があり、今後課題もありますけれども、総合的に見ると啓林館の教科書が優れていると感じ

じておりますので、私も推薦したいと思います。

○代田議長 他にいかがでしょうか。

○（発言者なし）

○代田議長 数学に関して啓林館の教科書が優れているという意見をいただきましたので、啓林館ということでよろしいでしょうか。

○（全員同意）

○代田議長 それでは数学は啓林館とさせていただきます。

○代田議長 続きまして、理科の教科書に移りたいと思います。理科に関しては、東京書籍の教科書が最も優れているという部会の報告でした。皆さんからご意見をいただきたいと思います。

○委員 非常に困っているんです。と言うのは、啓林館と東京書籍、この2社が、他の3社よりも優れているということははっきりしているんですが、啓林館は、例えば図だとか写真は東京書籍よりもいいです。東京書籍のほうを見ると、例えば理科の大事な部分の、目に見えない事象なんかを扱っている所、例えば電流なんかの場合、それをいかにこうイメージさせるかという、そういう部分は東京書籍のほうが啓林館より優れている。

1点、東京書籍の教科書の形状が、縦に4cm長くなったっていうのが、非常に引っかかってます。だから、私個人の思っただけだとしたら、それはまずいなっていうことを思ってるんですけども、その辺を皆さんに見ていただいて、「そんな4cmの長くなった部分なんかそんなに問題ないぞ」っていうことになれば、東京書籍かなと思ってます。

○代田議長 教科書が4cm変形であるということについて、もしご意見あればいただければと思いますが、いかがでしょうか。

○委員 先ほど実験のところはというところがあったので、そこら辺を考えると縦長で一覧として見れるところは、4cmの長さがあるんでしょうけど、特にはその持って行く段階では問題はないんじゃないかなというように思います。

○代田議長 問題はないというご意見をいただきましたが、他にはいかがでしょうか。

○委員 実は、私もちょっと違和感を覚えたので、部会の先生などに直接聞いてみました。そうしましたら、これが長くなったことによって、観察・実験の手順が分かりやすくまとめられるようになっていいんじゃないかという意見が多かったです。それから、私も啓林館が始めいいかな、特に小学校からのつながりを考えた時に、啓林館はそういう点を踏まえているなという感じがしましたが、これも先生たちのご意見からなんですけれども、東京書籍のほうはレッツスタートというところから始まります。これで課題を見つけて、仮説を立てて、観察実験の実証をして、考察をして、結論を出すっていう、学習の論理的な流れが見やすくきちんとされていて、東京書籍のほうが使いやすい、あるいは生徒たちには学習しやすいんじゃないかという意見が多かったので、東京書籍を勧めたいと思います。

○代田議長 他にいかがでしょうか。

○委員 形状について、さほど気にはしていませんでした。それで、内容から見て、東京書籍をということを私は考えていますけれども、今まで下伊那の先生、全県の理科の先生が一貫して、子どもたちの授業をどうするかといった時に、事象に出会わせ、問題を発見させて、問題を設定して、どうしてそういうことが起こるんだろうか、という見通しを持って、そして課題を設定して追求して、それで実験によって実感的に分かったことを納得するという、そういう授業をやってきたように思います。

そういった面で、東京書籍は一貫してその探求活動ができるように、しかもその事象、題材構成等も、教科書の最初から最後まで一貫して構成されている。そういった意味で、現場の先生方に合った教科書であるなということを思います。

東京書籍を私は挙げたいと思います。

○代田議長 ただいま委員のほうから大きさの問題の提起がありましたけれども、それについて他の委員から大きな問題ではないんじゃないかというご意見をいただき、また総合的には東京書籍のほうの方が優れているのではないかというご意見をいただきました。他にご意見があればいかがでしょうか。

○委員 東京書籍と啓林館のどちらかかなというふうに思ってきました。サイズのことを言えば、現場でこれで特に困らないということであればそれでいいと思います。ただ、啓林館は中は綺麗に、写真をうまく使ってやっているんですが、学習の流れということでは、化学変化とイオンというところ、3年生の部分を見ると、構成が水溶液とイオン、酸、アルカリ、化学変化と電池ということで、実は啓林館は、そここのところがちょっと順番が違って、単元の流れからいくと、東京書籍のほうの方がそこはスムーズに流れていって、分かりやすいんじゃないかということを思いました。

○代田議長 他にいかがでしょうか。

○（発言者なし）

○代田議長 それでは今までの意見を踏まえて、東京書籍の教科書が最も優れているということで決定してよろしいでしょうか。

○（全員同意）

○代田議長 それでは理科は東京書籍とさせていただきます。

○代田議長 音楽に移りたいと思います。まずは、音楽一般について部会からは教育芸術社の教科書が最も優れているという報告がありました。これについてご意見をいただきたいと思います。

○委員 「学校でなんで音楽をやるの」というそんなところが、巻頭で谷川さんとか松任谷さんとかのメッセージ等がありますけれども、そういうところで、音楽をやる価値とか意欲を持って始められるってところが魅力的なように思いました。

それから教育芸術社のほうが、この教材で何を学ぶんだと、どんな力が付くんだとい

う一本筋が通って示されている。もう一方の教科書は、先生いなくてもいいんじゃないかというような、全部ヒントが書かれている。そういうことから考えると、正に音楽を主体的に追究するといったことを考え、教育芸術社の教科書が良いという意見を持ちました。

○代田議長 他にご意見ありますでしょうか。

○（発言者なし）

○代田議長 教育芸術社の教科書が最も優れているということで推したいと思いますがよろしいでしょうか。

○（全員同意）

○代田議長 それでは音楽一般は教育芸術社とさせていただきます。

○代田議長 続きまして、器楽合奏の分野ですが、同じく教育芸術社の教科書が最も優れているという部会からの報告がありました。これについてご意見をいただければと思います。

○委員 こちらについても、教育芸術社ですけれども、先ほどの表現とか鑑賞のほうの教科書は、いわば1人でやる授業でなくて、みんなでやる授業であると。それに対してこの器楽になると、1人ひとり、1人で学ぶというか、1人で追求する場面が多くなるように思います。そういったところで、1人でも練習が進められるという、そういう内容になっているというところが大きな違いかなといいますか、特徴かなということをおもいました。こちらも、何を学んでどういう力が付くかということが明確にされています。そういった面から、教育芸術社の教科書を推薦したいと思います。

○代田議長 他の委員の皆さんからご意見いかがでしょうか。

○（発言者なし）

○代田議長 それでは器楽合奏の教科書のほうは、教育芸術社でよろしいでしょうか。

○（全員同意）

○代田議長 それでは器楽合奏の分野は教育芸術社とさせていただきます。

○代田議長 続いて、美術の教科書に移りたいと思います。部会から日本文教の教科書が最も優れているという報告がありました。これについてご意見をお願いしたいと思います。

○委員 光村図書の教科書については、教科書を活用して子どもたちが表現するという、そういう視点で、制作のための手がかりとかヒントがたくさん出ておまして、非常に表現という部分では子どもたちの学びの手助けになるなという、そんな思いで見させていただきました。

一方で日本文教の教科書は、教科書に出ている作品の良さを感じ取れるような紙面構成になっているということで、芸術に触れる喜びとか、奥深さ、それから豊かさという

ものを感じ取ることができるような教科書かなと思いました。

光村図書の教科書は、子どもにとって学びの助けになるような手がかりやヒントが、単なる技法だとかテクニックに流れるのではないかということでもちょっと心配かなという思いがあります。日本文教の教科の本質に触れる、教科性に迫るという意味で、こちらの教科書を推したいと思います。

○委員 光村図書も日本文教も生徒の視点で見た時にどちらもいいなと思って見ました。

ですが、各学校の実態や3年間の生徒の成長に合わせて使用できるように構成されている点だとか、魅力的な美術作品や題材を紹介して、美術の可能性や喜びを感じることができるよう工夫されているというところがいいかなと思ひまして、私は日本文教がいいと思います。

○委員 確認というか、ご意見をいただきたいんですけども、私自身は光村図書の美術の教科書がとてもいいなと思いました。と言うのは、例えばルネサンスを3つの教科書で読み比べてみると、開隆堂出版は作品の説明が小さく書いてあるのが印象的で、光村図書の方がやはり歴史とか深さとか、興味のわくような解説文になっているというふうに思ひます。

その一方で、日本文教は確かに2つ合わせると120ページ以上なので、ビジュアル的には面白いんだけど、文字の使い方、興味のそそり方という点で言うと、光村図書が非常にいいなというふうには思ひたので、その部分に関してご意見伺いたいんですが。

○委員 表現という部分についてですが、手がかりというものを、教科書を通してヒントを与えられて、ああ、こういうふうにやればいいんだなというのを掴みやすいというのが光村図書だと思います。

しかしそれは、考えようによっては、ああ、みんなこういうふうにやれば、奥行きのある絵画ができるんだなというような捉え方でいくと、要するに美術の〇〇法のような、そういう方式化される恐れもあるなということの思ひ、やはりいろんな表現があつていいということ言えば、教科書の中でその芸術の本質に触れるようなものだとか、創作意欲をかき立てるようなもの、そういったものを大事にしている日本文教のほうがいいのかなと思いました。ただ、三分冊のところはちょっとどうかと思ひましたけど。

○委員 私もその部分が、まあ納得できればと言うか、感覚的に分かれば、日本文教にいいところがたくさんあると思ひますので、推薦できるのかなと思ひます。

○代田議長 他の委員の皆さんいかがでしょうか。

○（発言者なし）

○代田議長 それでは美術に関しては、日本文教の教科書が最も優れているということで決定してよろしいでしょうか。

○（全員同意）

○代田議長 それでは美術は日本文教とさせていただきます。

○代田議長 続きまして保健体育に移ります。部会からは学研教育みらいが最も優れていると

いう報告がありました。これについてご意見をいただければと思います。

○委員 私は4冊読ませていただいて、大修館書店の教科書が1番じっくり来たというのが事実です。なぜかと言うと、例えばガンとその予防などを更に記述を増やしていく、そんなような方針があるわけですが、ガンの早期発見とか、検診内容までこう食い込んで表記されている教科書はここだけでありました。また、健康と環境などでは、災害と環境というふうにテーマを据えて、東日本大震災などに触れながら、被害地と健康、それからマイクロプラスチックなどについて触れているという点で、大変着目点良かったというところですが、社会の山川出版社でも出ましたが、内容的に少し難しいと言いますか、中学生になじまないのかなというのが、部会のお話を聞いていて思ったところでした。

その中では、学研教育みらいが丁寧な表記であり、体育と保健の連携を図っていく、そういう点で、この教科書だけ、例えばリラクゼーション、また心肺蘇生法も技能として捉えて表記してある点などは、学習指導要領の順として、新たな発想を取り入れているという点で、学研教育みらいがよろしいかと思えます。

○委員 私も委員が言われたように部会が出してきた2つではない発行者の教科書を推していたところでありました。それは何かって言うと、大修館書店の教科書でありました。非常に編集の制度が良くて、まとまっていて読みやすいと思ったのと、私は情報量っていうのはできるだけたくさんあったほうが良いと考えるタイプであります。

そういう点で、推していたんですけど、読みやすかったり写真が大きく使われてあって、生徒のとっつきが良いのかなと。それからまた部会の専門の先生達の説明を聞いて、私の意見を無理するほどでなくなったので、学研教育みらいが良いかなというふうに思っております。

○代田議長 他にいかがでしょうか。

○（発言者なし）

○代田議長 学研教育みらいの教科書が最も優れているというご意見がありました。特に委員会の報告にはなかった体育と保健との関係性みたいなものもしっかり書かれているという委員のご意見もありましたので、学研教育みらいの教科書ということでよろしいでしょうか。

○（全員同意）

○代田議長 それでは保健体育は学研教育みらいとさせていただきます。

○代田議長 続きまして、技術・家庭科の分野に移りたいと思います。まず、技術分野に関してです。技術分野に関しては、東京書籍の教科書が最も優れていると部会からの報告がありました。これについてご意見いただければと思います。

○委員 東京書籍が良いかと思えます。一番は、子どもたちが普段生活している中で感じているその生活上の課題というものを取り上げて、具体的にどういうふうに解決していけば

いいかという、課題解決と結び付けた制作というのが位置付いておりました。

従って、この技術科の教科書を通して、自分の生活を自分の知恵と工夫で良くしていくということにつながっていくんじゃないかと思ひまして、東京書籍を推したいとそんなふうに思います。

○代田議長 他の委員の皆さんいかがでしょうか。

○（発言者なし）

○代田議長 技術分野に関しては、東京書籍の教科書が最も優れているということで決定でよろしいでしょうか。

○（全員同意）

○代田議長 それでは技術分野は東京書籍とさせていただきます。

○代田議長 続きまして、家庭分野ですが、こちらに関しても、東京書籍の教科書が最も優れているという部会からの報告がありました。これについて委員の皆さんからご意見いただければと思います。

○委員 技術科と同じように東京書籍ですが、課題研究的な内容になっております。

調理の場面で鯖のみそ煮を取り上げてありましたが、調理の手順が非常に分かりやすく具体的に示されておりました。この教科書を見ながら子どもたちが自分で調理ができるという、そういう教科書の内容になっていたということ、それから、他にも参考例がたくさん示されていて、家庭で工夫しながらアレンジして調理ができる、そういう多様性もありますので、この東京書籍の教科書がいいと思います。

○代田議長 他にご意見ありますかでしょうか。

○（発言者なし）

○代田議長 家庭分野に関して、東京書籍の教科書が最も優れているということで決定してよろしいでしょうか。

○（全員同意）

○代田議長 それでは家庭分野は東京書籍とさせていただきます。

○代田議長 それでは続きまして外国語分野に移りたいと思います。

外国語、英語の教科書として、東京書籍の教科書「NEW HORIZON」が最も優れているという部会からの報告でした。これについてご意見をいただければと思います。

○委員 部会では最も優れているという順位は付けずに2つ挙げたように思いますが、いかがでしたか。

○代田議長 最後、三省堂と東京書籍の2者挙げていただき、東京書籍が最も優れていると発言があったと思います。

○委員 その2社、どちらも素晴らしいなというのが実感であります。

両者、小学校との接続がきちんとされているということが1つで、更に1年、2年、3

年の接続、積み上げがあって、そしてしかも持続的に力を積み上げていくんだという、そういう説明をしていただきました。

それで、三省堂のほうは、単に英語を学ぶのではなくて、楽しく、自分に意義あることとして学んでいくといった時に、やっぱり新出言語材料とどう出会うか、それからコミュニケーションの時にその場面がやっぱり身近でなければいけないし、外国語はやっぱり他国の文化を学ぶっていう、そういう意味合いもあるので、三省堂のその説明のところは、非常に自然・社会・平和・伝統等、いろいろ題材が多岐にわたってっていうこと、部会長さんが「バリエーションに富んだ」というような表現もされていました。

東京書籍については、ちょっとそのような記述がなくて、私もそこまでは丁寧に見てはないですが、力を積み上げて鍛えるっていうような、これ非常に、今の子どももこれからの子ども、非常に大事なことであって、すぐパッと知恵がついたつかないじゃなくて、やっぱり積み上げていくっていうことを、これは中学校段階だけじゃなくてずっとやっていくのが、大事な、教師たちの役目かなということを思うわけであります。

1つ気になったのはシンプルなことです。これはいいなとも思ったんですが、内容が高度になっている、そこがちょっと気になっているところではあります。私が見て、三省堂のほうに分があるのかなっていう思いをしています。

○代田議長 他にいかがでしょうか。

○委員 私も三省堂かなと思っていたものですから、三省堂の次は東京書籍とっておりました。

中身はあまり精査できてないんですけど、私も見た目から先に行くもんですから、どう子どもたちが食いついていけるかというところからなんですけれど、一番本文に集中できるのは三省堂だったというふうに思います。どの教科書もまわりにいろいろ解説から何から、ワンポイントとかついているんですが、ちょっと見ますと、ハエのように邪魔なものがいっぱいまわりについているなと思って、本文になかなか集中できないんですが、先ほどシンプルっていう言葉が出ておりましたが、三省堂が一番本文に集中できるような形になっているかなと思っております。

○代田議長 三省堂のほうに分があるのではないかと、よいのではないかとのご意見をいただきましたが、他の委員の皆さんいかがでしょうか。

○委員 私は部会が推している NEW HORIZON のほうが優れていると思っております。

理由としては、シンプルっていう言葉が今出てきましたが、どう捉えるかの問題だろうと私は思っています。

この英語の教科書が、確かに他の教科書は、文章が中心になっているんですね。ある意味で国語の教科書みたいな感じを受けます。私は、逆に、より情報がたくさん入っていることが大事なことで、その長文読解にしても、様々なアイテムがそこに含まれてますので、文章を読んでそこから感じ取った上で学ぶっていうだけではなくて、そこから派生していく様々な学習の機会が増えると、こういうふうに考えますと、その部分は情

報量の多い NEW HORIZON のほうが、より中学校と小学校じゃなくて中学から高校への接続っていうことを考えていかないといけないんじゃないかなと。特に長野県の中学生の英語力の低さ、学力向上という点での私は課題だろうと思っています。

それから、一番後ろにどの教科書も単語が載っていますが、比較的 NEW HORIZON の単語っていうより変化級、あるいは比較級、派生語、それからセンテンスが載っているわけです。ですので、本当に勉強する生徒は、参考書を買ったり問題集を買っているんですけど、少なくとも教科書を中心に考えた時に、一番後ろのこの厚い単語の部分が語彙力を増すという良さがある。つい先日、中学生のアンケートをとった時に、どうしてこう躓いているのかなあと思ったのは、なかなか単語や語彙力が増えないということアンケートで答えていました。

それとやはり、編集が非常によくできています。私は NEW HORIZON のほうがより次の段階への継続性からしても、それからやはり学ぶ時の情報量の多さという点で、NEW HORIZON だろうというふうに思います。

○代田議長 東京書籍の NEW HORIZON のほうを推すというご意見をいただきましたが、他の委員の皆さんいかがでしょうか。

○（発言者なし）

○代田議長 三省堂を推していただいた委員からはご発言ありますでしょうか。

○委員 甲乙付けがたいというところでもありますので、結構であります。

○委員 私も同様でございます。どちらも優れていると思います。

○代田議長 2社非常に甲乙付けがたい中ですが、東京書籍ということで決定してよろしいでしょうか。

○（全員同意）

○代田議長 それでは英語は東京書籍とさせていただきます。

○代田議長 それでは、最後に道徳の教科書に移りたいと思います。

道徳の教科書は光村図書が最も優れているというのが部会からの報告でした。皆様のご意見をいただければと思います。

○委員 道徳の場合、資料等を読んで、そこから資料を鏡にして自分をどう見るかとか、自分をどういうふうにこれからたてていこうかといったようなところが大事になるというふうに思っています。

そういう点で、資料を読み深めていくところの設問等が、光村図書の場合は非常に子どもの思いに沿っているというか、飛躍がないってことを思いました。資料のあとに必ず考えようっていうコーナーがあるんですけど、その考えようのコーナーの一番上の設問は、その資料の内容に沿っての設問が必ず入っていて、その後だんだん自分に寄せて見方を変えるっていったような設問になって、自然な形で広め深めていくっていったような流れができていくのが、とてもいいなというふうに思います。

それから、他の教科書にないところは、光村図書の場合は、学校の1年間の流れが、基本3学期制ないし2学期制っていったようなことを多分配慮してだと思っんですけど、1年間の教材配列がだいたい3つのくくりになって、4分野のことが3つのくくりの中に必ず散りばめられて学んでいくっていう、各学期だいたい1くくりずつ学んで、それを振り返っていけば、1年間がだんだん深まっていくのを確認できるっていうような、そういう教材配列にもなっていますので、とても学校の実情に合っているなというふうに思います。

一番目については光村図書でいいと思っています。むしろ私は2番目に部会のほうは日本文教を推してきましたけれど、ううんという、むしろ東京書籍なんかのほうが優れているのかなあと、日本文教の2番目の推されたのはちょっと設問があまりに抽象的で、子どもたちに向けてのテーマが大きすぎるなといった思いで見えていましたので、そっこのほうがちょっと意外でしたが、1番目は光村図書でよろしいかというふうに思っています。

○委員 私も光村図書がいいと思っております。

全体的に、子どもたちに自由な発想で考えさせようとする、そういう部分の設問が多かったこと、それから光村図書は現在も国語で使われておると思いますが、私は非常に優しい、非常になじみがあるというような点が、今までの学習から引き継ぐというような点も含めていいんじゃないかと思っております。

○代田議長 他にいかがでしょうか。

○（発言者なし）

○代田議長 はい、それでは道徳の教科書は光村図書の教科書が最も優れているということで決定してよろしいでしょうか。

○（全員同意）

○代田議長 それでは道徳は光村図書とさせていただきます。

○代田議長 中学校全教科の選定が終了しました。皆さん長時間のご協議ありがとうございました。

3. その他

- (1) 選定結果一覧表の送付について
- (2) 採択結果の報告について
- (3) 選定結果・議事録等の公開非公開について（確認）

○（質問者なし）

4. 閉会